

# 日刊 勤労千葉

83. 12. 10

No. 2514

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七〇七

## 12/6 オマケ定期委員会報告

第八回定期大会以降、10・9三里塚―11・9レーガ  
ン来日阻止闘争を「昇給協定」「59・2」と結合させ、  
全力で闘いぬぎ、十二月六日、第七回定期委員会を開  
催し、総選挙闘争、「59・2」を中心とする当面の取  
り組みについて満場一致で決定しました。

### 委員会のちとるべき五つの課題 ―中野委員長が提起―

委員会は、議長に石幡委員（幕張支部）を選出して始めました。

冒頭あいさつにたつた中野委員長は、定期委員  
会のかちとるべき課題について、第一に、総選挙  
闘争を全力で闘うこと。第二に、当面する最大の  
課題である「昇給協定」「59・2」を全力で闘う  
こと。第三に、「動乗勤」を84春闘と結合して闘  
うこと。第四に、3・25三里塚現地集会の爆発的  
高揚をかちとるために全力をあげることに。第五に、  
動労「本部」革マル打倒の闘いに総決起する、の  
五点にわたって述べました。

つづいて、中江顧問から「衆院選は『戦後政治  
の総決算』をかかげた中曽根の軍拡路線を許すの  
か、『平和と民主主義』を守るのかをかけた闘い  
であり、なんととしても勝利しなければならない』  
とのあいさつを受けました。

次に布施書記長より、経過報告、協約協定締結  
について、地域班結成に向けた取り組み、そして  
当面する闘いについて、I仲裁裁定完全実施、昇  
給協定改悪阻止は昇給と新賃金配分の早期実施を  
めざして闘う。II反合・運転保安確立の闘いは、  
59・2ダイ改―動乗勤制度改悪攻撃に対し、スト  
ライキを含むあらゆる戦術を行って闘う体制を  
強化する。III総選挙闘争の取り組みは、国鉄・三  
里塚二期をはじめとする中曽根の反動攻撃に重大  
な影響を与えることを見すえて、全力で取り組む。  
IV三里塚二期着工阻止の闘いは、3・25三里塚現  
地集会にむけ、全組織をあげて闘う。V84春闘に  
ついては、反合課題や反戦・政治闘争と結合して  
たたかう。VI組織強化・拡大、動労大改革、国労  
共闘について全力で取り組む方針が提案されまし  
た。

第7回勤労千葉定期委員会



あいさつにたつ中野委員長

### 12・15集会の成功をはじめとする 当面の取り組みを決定

質疑は、多くの委員から活発にだされました。  
主な意見は、「59・2」ダイ改をめぐる問題点、  
総選挙闘争勝利にむけた取り組み、昇給協定問題  
と動労「本部」革マルの裏切り、退職者問題等々  
で、執行部から答弁を受けました。

すなわち「59・2」ダイ改については、各支部  
が自分達の職場で業務量を確保するための要求を  
かちとることであり、貨物三職場をどう守るかを  
みんな考え、中曽根打倒に視点をすえて闘う。  
総選挙闘争については、重要性を認識し地区合  
選と関係支部との連携を密に取り組みを強化する。  
「昇給協定」については、結果だけみて討論す  
るのでなく、原則的に闘い、そのことによつて次  
の闘いにむけて組織が強化されたかどうかを総括  
の基準としなければならない。

動労「本部」革マルについては、当局と一体と  
なつて攻撃を加えてきており、五年間の苦闘をか  
けて粉碎していくとの答弁を受けました。  
委員会は、経過報告と12・15国鉄労働者集会の  
圧倒的成功にむけた取り組みをはじめとする、当  
面の具体的取り組みについて全体の拍手で確認し、  
最後に闘争宣言を採択して終了しました。

# 10・9-11・9がきりひらいた情勢に 勇気百倍、確信もって闘いぬこう

# 12・15

場所 千葉県教育会館  
（千葉地裁前）  
16時30分より映画上映。  
17時30分開会。  
新版「ホチキス」

## 国鉄労働者集會に結集しよう